

# ほっかいどう

その先の、道へ。北海道 Hokkaido. Expanding Horizons.

1

January 2024  
令和5年12月発行  
vol.253

特集

- ◆ 食べて応援! 北海道
- ◆ 子どもと子育てにやさしい社会づくりを進めています。

安全・安心でおいしい  
道産水産物を  
食べて応援!



年末年始の  
ご挨拶

令和5年中は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国際情勢も大きく変化する中、道政の推進に、ご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。引き続き、北海道を前への想いを胸に、道政に全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。令和6年が、皆さまにとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

鈴木直道  
北海道知事



# 特集1 食べて応援！北海道

中国等による日本産水産物の輸入停止措置により、ホタテをはじめ、たくさんの道産水産物が行き場を失っています。漁業者・水産加工業者の皆さんが努力を重ねながら生産している安全・安心でおいしい道産水産物を、みんなで食べて応援しましょう！

特集に関するお問い合わせ／道庁水産林務部総務課 TEL.011-204-5445



## 道の取り組み 道産水産物を食べて応援する

### 道産水産物を食べて応援する

道では、道内の漁業者・水産加工業者の皆さんを応援するため、ホタテなどの道産水産物の消費を促進するキャンペーンを展開しています。ぜひ道産水産物を食べて応援してください。

### ホテルで、旅館で、食べて応援！北海道

道 北海道観光振興機構では、道内宿泊事業者と連携して「ホテルで、旅館で、食べて応援！北海道」プレゼントキャンペーンを実施しています（2024年2月15日（木）まで）。

対象の宿泊施設で食べた海鮮料理（道産・国産）を撮影し、Xまたはインスタグラムに「#hokkaidoive」をつけて投稿すると、抽選でデジタルギフト500円分が15,000名様になります。ホタテが当たるWチャンスも！  
道庁観光振興課  
TEL.011-204-53006

### 「食べて応援！北海道」 どさんこプラザ一斉キャンペーン

「北海道どさんこプラザ」の国内外全18店舗では、水産物を中心とした道産食品の販売促進フェアを行っています。特設コーナーの設置、販促パネルなどの掲示、PR動画の放映などを行っています。お近くの店舗にぜひお立ち寄りください。  
道庁食産業振興課  
TEL.011-204-5706

### 「食べて応援！北海道」キャンペーン ふるさと納税の取り組み

ふるさと納税を活用した道産水産物支援の取り組みとして、道では、北海道ウェブサイトに、水産物支援特設ページを立ち上げ、北海道の取り組みのほか、ふるさと納税ポータルサイトの各社や道内の市町村における水産物支援特設ページを紹介しています。ぜひ特設ページをご覧ください。ふるさと納税を通じて道産水産物の応援をいただきますよう、よろしくお願いたします。  
道庁官民連携推進局  
TEL.011-206-6449



ふるさと納税ポータルサイト各社の水産物支援の特集ページ

## 道産水産物は 大きな影響を受けています

東京電力福島第一原発のALPS処理水の海洋放出に伴い、2023年8月24日、中国は日本産水産物の全面輸入停止を発表しました。以降、中国への輸出向けに生産された道産水産物は行き場を失っています。道産水産物の道内港からの中国向け輸出額は、2023年6月までは前年比110%以上で推移していましたが、輸入停止措置が始まった8月は前年比約30%、9・10月は0%となりました。これにより、道産水産物全体の輸出総額も減少しています。大きな影響を受けている道産水産物はいまどのような状況なのでしょう。道内の漁業団体に現状と今後の取り組みについてお話をうかがいました。



「食べて応援！北海道」  
キャンペーンロゴマーク



「食べて応援！北海道」  
ポータルサイト

## INTERVIEW



北海道漁業協同組合連合会  
代表理事会長  
あべくにお  
阿部 国雄さん

## 道民の皆さまの温かい応援に感謝して、 北海道のおいしさをお届けします。

中国による輸入停止措置の影響を教えてくださいませんか。

中国向けの輸出割合が大きかったホタテについては、まず短期的な影響として、8月時点で、中国向けに販売する計画で製造していた製品が行き場を失ったことが大きかったです。しかしながら、「道産水産物を応援しよう」という報道や道民の皆さまの働きかけが大きな力となって、ホタテ製品全般を底支えしていただき、何とか事態は改善されつつあります。本当にありがたいと思っています。また、長期的な影響として、道産ホタテ水揚げ量の約4分の1が中国に輸出されていたことから、引き続き販売先の再構築が求められています。

### 消費拡大に向け、どのような取り組みを進めていますか。

ホタテを含めた国内販売の拡充については、皆さまの応援のおかげで、ふるさと納税やスーパー、飲食店向けの営業も功を奏し、消費は着実に広がっています。

### 道産水産物をより一層食べていただくために、道民の皆さまにメッセージをお願いします。

輸入停止措置を機に、道民の皆さまの温かい応援がこれほど大きくなることは予想もしていませんでした。心から感謝を申し上げます。食べていただく機会が増えるという「おいしい」という声も多くなり、漁業者ももっといいものを作ろうと励みに思うことができます。

## 民間事業者の取り組み

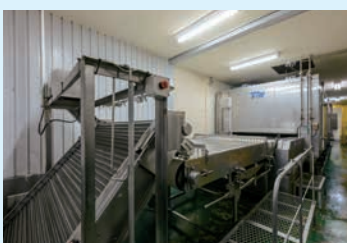
### 国際基準の衛生管理で 安全・安心な水産物を世界へ

#### 丸ウロコ三和水産株式会社 (紋別市)

丸ウロコ三和水産は、創業55年の水産加工会社。オホーツク海全域から仕入れのできるルートが強みで、主力商品のホタテをはじめ、良質で鮮度の高い水産物水産加工品を生産しています。

従来は、冷凍貝柱などホタテ加工品の約2割を中国に輸出していたことから、輸入禁止は大きな打撃となりました。そうした状況下でも、北海道のおいしい水産物を多くの人たちに届けよう、新たな販路拡大に取り組んでいます。

同社製品の安全・安心を支えているのが、2014年に取得したHACCP<sup>※</sup>認定です。「鮮度の高い食品を扱う以上、安全・安心の付加価値を高めることは当社の使命。国際基準の衛生管理を継続することが信頼につながる」と考えています。同社社長の山崎和也さん。



HACCPに対応した水産加工施設

「最近では、アメリカ、台湾、オーストラリア、東南アジアなど新たな輸出先が増えました。道内外からも、ホタテを使ったコラボ商品や外食産業でのキャンペーンなど多くの応援企画をいただき、励みになっています」と手ごたえを感じている山崎さん。

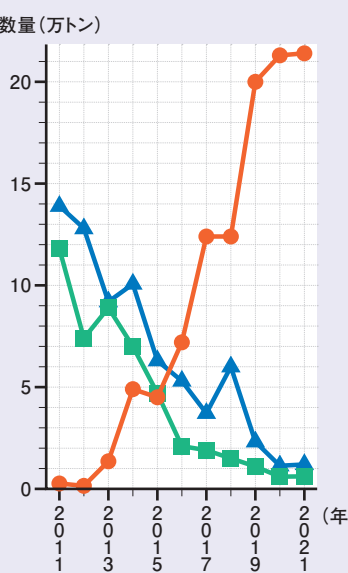
※HACCP（ハザード分析・重要管理点管理）は、Hazard（危害）、Analysis（分析）、Critical Control Point（CCP）などの国際基準の衛生管理手法。

## いま道産水産物に どんな変化が起きている？

皆さんは、店頭で並ぶ魚の種類を見て、北海道の水産物が少しずつ変化してきているにお気づきでしょうか。

例えば、2011年には10万トンを超える漁獲があったスルメイカやサンマは、2021年には1万トン程度となっています。一方、近年の好漁続きで漁獲量が増大しているのが、マイワシ、ブリ、ニシンです。こうした魚種の変化には、気候変動に伴う海洋環境の変化が影響していると考えられています。

●北海道水産現勢  
■マイワシ ■スルメイカ ■サンマ



## 安定的な生産を目指す 栽培漁業の取り組み

道では、漁業資源の変化に影響されにくい安定的・計画的な生産体制づくりに向けて、北海道に適した新たな養殖手法の検討を行っています。その一つが、木古内町で進めてきたサクラマスの養殖試験です。

2021～2023年度の間に、種苗から出荷サイズに育成するまで約8カ月間の試験飼育を2回行い、さまざまな基礎データを取得。魚体の生育状況を把握したほか、飲食店等の意見を踏まえて食味の改善を行うことができました。

今後も、養殖魚の品質向上やコスト削減など、さらなる生産性の向上を目指していきます。



サクラマスの養殖試験

特集 2

子どもと子育てにやさしい社会づくりを進めています。

道では、希望する誰もが安心して子どもを生み育てることができるよう、結婚から妊娠・出産、子育て全般にわたり、ライフステージに応じた切れ目のない支援を進めています。

特集に関するお問い合わせ／道庁子ども政策企画課 TEL.011-206-6309

未来のために進める 子ども応援社会の取り組み

北海道では、全国を上回るペースで少子化が進行しています。2022年の合計特殊出生率は、全国で1.26、北海道は47都道府県別で45位の1.12となり、過去最低を更新しました。

北海道の少子化は、未婚化、晩婚化の進行のほか、仕事や子育ての負担感、経済面での不安など、さまざまな要因が考えられます。

少子化の進行は、子どもの自主性や社会性が育ちにくくなることや、生産年齢人口の減少などによる経済や地域社会の活力が低下することなど、本道の将来に広く深刻な影響を与えることが懸念されます。

道では、安心して子どもを生み育てることができ、子どもが健やかに成長している「子ども応援社会」の実現に向けて、社会全体で子ども子育て施策に取り組んでいきます。

※合計特殊出生率…1人の女性が生涯に生むと仮定したときの子どもの数

●都道府県別の合計特殊出生率(2022年)

1位	沖縄県	1.70
2位	宮崎県	1.63
3位	鳥取県	1.60
...	...	...
45位	北海道	1.12
46位	宮城県	1.09
47位	東京都	1.04

ポータルサイト「ハグクム」 情報発信

北海道で安心して子どもを生み育てることができるよう、市町村や企業などと連携し、結婚・妊娠・出産・子育てに関する総合ポータルサイト「ハグクム」による情報発信をしています。



気運醸成

こどもファスト・トラック

子ども・子育てにやさしい社会づくりを目指し、妊娠中の方や子ども連れの方に配慮を行う取り組みです。すべての道立施設で施設状況に応じ、窓口での優先案内や優先駐車場、授乳室などを設置しています。詳しくは道のウェブサイトでご確認ください。



こどもまんなか応援サポーター

こども家庭庁の取り組みで、子どもや子育て中の方々を応援する個人、企業、自治体などがサポーターとなり、それぞれの取り組みをSNSなどで発信していくプロジェクトです。登録は不要で、SNSに「#こどもまんなかやってみた」を付けて発信するだけでサポーターとなります。



子育て



妊娠・出産



結婚



多子世帯の保育料軽減支援事業

多子世帯の保育料軽減のため、保育所、認定こども園、地域型保育を利用する第2子以降の3歳未満児(所得制限あり)の保育料無償化に必要な経費の一部を市町村に助成しています。

保育サービスの充実

多様なニーズに対応した保育の受け皿を確保するため、保育所等の計画的な整備や人材の確保に取り組むとともに、地域における延長保育や預かり保育などの提供体制の整備を進めています。

北海道医療給付事業 (乳幼児等医療費助成)

子育て家庭の医療費の負担を軽減するため、子どもの医療費を助成しています。助成を受けるためには、受給者証の交付申請手続きが必要です。詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

不妊治療費等助成事業

医療保険適用外のため医療費が高額となる不妊治療(先進医療)にかかった経費や、受診のための交通費等の一部を助成します。詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

妊産婦安心出産支援事業

分娩可能な産科医療機関までの距離が遠い地域にお住まいの妊産婦に対して健康診査や出産にかかる交通費等の一部を助成します。詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

結婚サポートセンター 北海道 コンカツ情報 コンシェル

結婚サポートセンター

結婚を望む方や応援したい方へのさまざまな相談支援を行うほか、結婚支援を行う道内企業や団体の情報、道内市町村の結婚支援事業の情報を提供するため、「結婚サポートセンター 北海道 コンカツ情報 コンシェル」を開設しています。



小中高生の意見募集(パブリックコメント)

意見募集

※ご意見はどちらの方法をお願いします

医療、健康、食、観光など、さまざまな取り組みに関する計画を策定・改訂するため、道民の皆さんの意見をお聞きする「パブリックコメント」を実施しています。

皆さんの声を反映しながら進めていく計画なので、小学生、中学生、高校生の皆さんの声をお待ちしています。各計画の素案について「こうしたらいいと思う」「もっとこうしてほしい」など、率直な声をお聞かせください。

子ども用(選択式)



一般用(自由記載式)



北海道ヤングケアラー相談サポートセンター

相談窓口

大人に代わって家事や家族のケアを担う子ども(ヤングケアラー)は、その負担が大きいと学業などに支障が出る場合があります。道では、ヤングケアラーやその家族などの相談窓口「北海道ヤングケアラー相談サポートセンター」を設置するなど支援に取り組んでいます。



女性の健康サポートセンター

女性のライフサイクルに応じたさまざまな悩みや不安について、26カ所の道立保健所で相談に対応しています。

にんしんSOSほっかいどうサポートセンター

予期しない妊娠などにより悩みや不安を抱えた方々が、安心して相談できる窓口を開設しています。



相談窓口

広告

広告